

令和7年度 士幌町立中士幌小学校 学校経営方針

1 学校経営の基盤

公立学校として、北海道教育の基本理念（「自立」と「共生」）、十勝管内教育推進の重点（十勝らしい一人一人の学びの実現）、士幌町教育目標・教育大綱・教育行政執行方針、学校教育・学校経営にかかわる法令等に基づいて本校の教育目標の具現化に努める。

2 中士幌小学校の教育目標

- ☐ よく考える子ども ☐ 思いやりのある子ども
- ☐ 明るく元気な子ども ☐ がんばり強い子ども

＊ 教育目標実現のために「知・徳・体」のバランスの取れた具体的教育活動を進める

3 経営の基本方針

「一人一人の児童が、未来に向かって自己を創造する学校」

4 めざす子ども像・学校像・教師像

【めざす子ども像】… ☆心身ともに健康で、主体的に学び合う子

- ① 心豊かな子（徳） ⇒ 笑顔で挨拶、人とつながりを広げる
- ② かしい子（知） ⇒ 「なりたい自分のため」に主体的に学ぶ、学習習慣を身につける
- ③ たくましい子（心・体）⇒ 「なりたい自分のため」に進んで身体を動かす、挑戦・失敗から学ぶ

【めざす学校像】… ☆子どもをまん中にした学校

- ① 子どもが安心して楽しく学べる学校
- ② 保護者や地域が応援したくなる学校
- ③ 教職員が連携協働し働きやすい学校

【めざす教師像】… ☆児童・保護者や地域住民から信頼される教師

- ① 笑顔・あいさつを大切にする教師
- ② プロの教師（愛情・使命感・情熱・授業力・協働力・修養力※学び続ける）道の教員育成指標より
- ③ 子どもの自発力を育む教師（子どもを見る・待てる）

5 学校経営の重点目標

(1) 学力の向上【教務部を中心に全職員で】

- ① 基礎基本・学習習慣の定着（検定挑戦）
- ② 校内共同研究の充実、授業改善
- ③ ICT（ipad）の効果的活用の推進

※各種調査結果を活用（全国学調、標準学力調査、チャレンジテスト等）

(2) 読書や言語活動を通して読解力・書字力向上【教務部を中心に全職員で】

- ① 読書活動の充実（町図書館、町教委との連携）
- ② 読む力、書く力の向上
- ③ 図書の利活用（児童の傍に図書がある環境）

※学校評価結果の活用

(3) 豊かな心の育成【指導部を中心に全職員で】

- ① 元気な挨拶・返事、正しい言葉遣いの励行
- ② 心理的安全性のある学級経営
- ③ いじめ・不登校の未然防止、異学年交流

※いじめアンケートの活用

(4) 体力の向上【指導部を中心に全職員で】

- ① 外遊びの奨励・基礎体力の向上、異学年との集団遊び
- ④ 体育授業の充実
- ③ 系統的な健康教育（保健、安全、食育、基本的な生活習慣）

※新体力テストの結果の活用

(5) 特別支援教育の充実【特支教諭を中心に全職員で】

- ① 個に応じたきめ細かな指導
- ② 保護者・関係機関との連携
- ③ 専門性を高める校内・校外研修の更なる充実

(6) 保護者・地域・関係機関との連携推進【教頭を中心に全職員で】

- ① 積極的な情報発信（学校便り、HP、学級通信等）
- ② 価値ある連携・交流授業の促進（保小、小小、複式校、小中、小高）
- ③ CS（コミュニティ・スクール）の推進（見守り隊、地域の人材発掘、出前授業等）

※CSコーディネーター、学校評価結果の活用

(7) 働き方改革【全職員一人一人がウエルビーイングを目指す】

- ① 校務支援システム・ICT（ipad）の活用推進
- ② 学校行事の更なる精選・重点化
- ③ 年休取得目標15日以上 例・ゴールデンウィーク

*ウエルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。（道第4期教育振興基本計画より）

「やってみよう」「なんとかなるさ」「ありがとう」「ありのままに」

(8) 授業改善のその先に【目指す子供の姿の明確化】

- ① 授業改善(指導案を作成し一人一授業から)
- ② 三つの資質・能力の育成（目指す児童の姿の明確化）
- ③ 働き方改革は子供のため、各行事等も目標を明確に